



この資料は、サステナビリティを経営の基盤に位置付けている阪神高速グループが取り組むべき重要課題の一つ「ステークホルダーの声を反映した経営と信頼性の向上」の実現に向けたものです。

2025 年 6 月 11 日

第20期(2025年3月期)決算の概要

1. 連結決算の概要

(単位:億円、単位未満切捨て)

項 目		2025年 3月期 (A)	2024年 3月期 (B)	増減		2026年 3月期 通期見通し
				金額 (A-B)	率 (A-B)/(B)	
営業収益	高速道路事業	2,419	2,312	107	4.6%	3,385
	料金収入	1,853	1,782	70	4.0%	1,846
	道路資産完成高 (注)1	558	522	35	6.9%	1,538
	その他売上	7	7	0	5.4%	0
	関連事業	190	219	▲ 28	▲ 13.2%	134
	受託事業	121	154	▲ 32	▲ 21.1%	68
	その他(関連)事業 (注)2	68	64	3	5.6%	66
	セグメント間取引消去	▲ 4	▲ 3	▲ 0	-	-
		2,605	2,528	77	3.1%	3,520
営業費用	高速道路事業	2,410	2,283	126	5.5%	3,375
	道路資産賃借料	1,355	1,312	42	3.3%	1,347
	道路資産完成原価 (注)1	571	523	48	9.2%	1,539
	管理費用	483	447	35	7.9%	488
	関連事業	179	207	▲ 28	▲ 13.7%	126
	受託事業	122	155	▲ 32	▲ 20.9%	68
	その他(関連)事業 (注)2	56	52	3	7.5%	57
	セグメント間取引消去	▲ 4	▲ 3	▲ 0	-	-
		2,584	2,487	97	3.9%	3,502
営業利益	高速道路事業 (注)3	9	29	▲ 19	▲ 65.9%	9
	関連事業	11	11	▲ 0	▲ 3.4%	8
		21	40	▲ 19	▲ 48.1%	17
経常利益		28	42	▲ 14	▲ 33.2%	10
親会社株主に帰属する 当期純利益		24	25	▲ 0	▲ 3.4%	5

(注) 1 道路資産完成高とは、完成した道路資産の高速道路機構への引渡額をいい、道路資産完成原価とは、当該道路資産の建設に要した費用をいいます。

2 関連事業の「その他(関連)事業」には、休憩所等事業、駐車場事業、道路マネジメント事業、事業者支援コンサルティング事業等を含んでおります。

3 高速道路事業の営業利益には、高速道路事業の利益剰余金を活用した、安全対策やサービス高度化に資する事業に伴う損失が含まれております。

4 2026年3月期の通期見通しには、不確定な要因を含んでおり、将来の業績等を保証するものではありません。
実際の業績等については、様々な要因により変化するものであることをご承知おき下さい。

2. 料金収入及び通行台数実績

項 目	2025年 3月期 (A)	2024年 3月期 (B)	増減率 (A-B)/(B)
料金収入(億円)	1,853	1,782	4.0%
通行台数(千台)	264,994	261,392	1.4%
一日当たり通行台数(全体)(千台/日)	726	714	1.7%

(参考)2025年3月期の個別業績

(単位:億円、単位未満切捨て)

項 目		2025年 3月期 (A)	2024年 3月期 (B)	増減		2026年 3月期 通期見通し
				金額 (A-B)	率 (A-B)/(B)	
営業 収益	高速道路事業	2,412	2,305	107	4.6%	3,385
	料金収入	1,853	1,782	70	4.0%	1,846
	道路資産完成高 ^{(注)1}	558	522	35	6.9%	1,538
	その他売上	0	0	0	74.5%	-
	関連事業	133	165	▲ 31	▲ 19.2%	82
	受託事業	121	154	▲ 32	▲ 21.1%	68
	その他(関連)事業	11	10	0	7.8%	13
		2,546	2,470	75	3.0%	3,467
営業 費用	高速道路事業	2,421	2,293	128	5.6%	3,382
	道路資産賃借料	1,355	1,312	42	3.3%	1,347
	道路資産完成原価 ^{(注)1}	571	523	48	9.2%	1,539
	管理費用	494	457	37	8.3%	495
	関連事業	131	163	▲ 31	▲ 19.4%	79
	受託事業	122	155	▲ 32	▲ 20.9%	68
	その他(関連)事業	8	7	0	10.4%	11
		2,553	2,456	97	4.0%	3,462
営業(▲ 利益 損失)	高速道路事業 ^{(注)2}	▲ 9	12	▲ 21	-	2
	関連事業	1	2	▲ 0	▲ 3.6%	2
		▲ 7	14	▲ 21	-	4
経常利益(▲損失)		5	20	▲ 15	▲ 75.2%	▲ 2
当期純利益(▲損失)		10	11	▲ 1	▲ 11.7%	▲ 3

(注) 1 道路資産完成高とは、完成した道路資産の高速道路機構への引渡額をいい、道路資産完成原価とは、当該道路資産の建設に要した費用をいいます。

2 高速道路事業の営業利益(営業損失)には、高速道路事業の利益剰余金を活用した、安全対策やサービス高度化に資する事業に伴う損失が含まれております。

3 2026年3月期の通期見通しには、不確定な要因を含んでおり、将来の業績等を保証するものではありません。
実際の業績等については、様々な要因により変化するものであることをご承知おき下さい。